



2022年2月2日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 新 日 本 科 学  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 永 田 良 一  
 (コード番号：2395 東証第一部)  
 問 合 せ 先 上 席 執 行 役 員 岩 田 俊 幸  
 I R 広 報 統 括 部 長  
 電 話 (TEL：03-5565-6216)

**2022年3月期 通期連結業績予想及び通期配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2021年10月21日公表の2022年3月期通期連結業績予想及び2021年5月10日公表の2022年3月期期末配当予想を下記のとおり修正することについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	17,400	3,800	4,600	4,900	117.69
今 回 修 正 予 想 (B)	17,900	4,100	5,630	5,800	139.31
増 減 額 (B-A)	+500	+300	+1,030	+900	
増 減 率 (%)	+2.9	+7.9	+22.4	+18.4	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	15,110	2,529	3,645	3,661	87.95

(2) 修正の理由

当社の主力事業である前臨床事業は、コロナ禍による医薬品開発のアウトソーシング (外部委託) トレンドの加速化に加えて、抗体医薬や核酸医薬など新たな創薬モダリティの研究開発において世界的に活発な競争が継続していること等による好調な受注を背景に、想定を上回り推移しております。当社の強みである大型実験動物試験の需要が依然拡大傾向にあることから試験室の高稼働が続いており、既存顧客からの受託増のみならず国内外の新規顧客の獲得も順調に推移しています。また、米国に本拠を置くグローバルCROであるPPD社との合弁会社・株式会社新日本科学 PPDにおいて展開する臨床事業においても、受注は順調に推移しております。

こうした足元の状況と第3四半期までの実績をふまえ、第4四半期は、トランスレーショナルリサーチ事業の開発費(連結子会社SNLDでの臨床第1相試験開始に向けた費用を含む)が発生すること、人材強化などのコーポレート経費の増加を見込んでおりますが、これらの影響も加味して今後の業績を上記のとおり修正いたします。営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも過去最高益を更新する見通しです。

なお、第3四半期連結会計期間において、為替レートは1米ドル115.01円となり、子会社貸付金等に対する為替評価益490百万円を計上しております。通期見通しは、想定レートを第3四半期末の為替レート(115.01円/米ドル)のままに据え置いております。

2. 配当予想の修正について

(1) 2022年3月期通期配当予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2021年5月10日発表)		20円00銭	20円00銭
今 回 修 正 予 想		40円00銭 (うち特別配当10円00銭)	40円00銭 (うち特別配当10円00銭)
当 期 実 績	0円00銭		
前 期 実 績 (2021年3月期)	0円00銭	20円00銭 (うち特別配当10円00銭)	20円00銭 (うち特別配当10円00銭)

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策の一つと認識し、将来の事業展開や経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な利益配当を実施していくことを基本方針としております。

2022年3月期の配当につきましては、本日公表の通期連結業績予想をふまえ、当社財務状況等と株主の皆様への利益還元を総合的に勘案した結果、当期の一株当たり期末配当予想を前回予想20円00銭から40円00銭(うち特別配当10円00銭)に修正いたします。

(注) 上記の業績及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上